

授業概要

プラットフォームと言われるのは、略称で GAFAM と呼ばれる Google, Amazon, Facebook, Apple, Microsoft の米国系企業である。それぞれ情報技術を使った特色のあるビジネスにより、その影響力は大きく、プラットフォームを形成していることから、これらの企業のビジネスモデルをプラットフォームビジネスと呼んでいる。こうしたプラットフォームと言われるようになったのは、最近の話であり、共通点は、ITC（情報通信技術）を駆使して競争力のあるサービスを提供している。これらを学び日本経済にも影響があり、その良さを学ぶことは、意義にあることと考える。

授業計画

| | |
|--------|---------------------------|
| 第 1 回 | プラットフォームの意味と概要 |
| 第 2 回 | プラットフォームの種類と主なプラットフォームの説明 |
| 第 3 回 | プラットフォームの活用と課題 |
| 第 4 回 | GAFAM の説明 |
| 第 5 回 | AMAZON の分析 |
| 第 6 回 | APPLE の分析 |
| 第 7 回 | Google の分析 |
| 第 8 回 | Facebook の分析 |
| 第 9 回 | MICROSOFT の分析 |
| 第 10 回 | GAFAM のビジネスー1 |
| 第 11 回 | GAFAM のビジネスー2 |
| 第 12 回 | 金融システムとプラットフォーム |
| 第 13 回 | 世界のプラットフォームと日本の取り組み |
| 第 14 回 | これまでの学習内容のまとめ |
| 第 15 回 | 内容理解のための筆記試験の説明 |
| 第 16 回 | 筆記試験の実施 |

到達目標

1. プラットフォームビジネスを十分に理解し、従来の企業形態と比較してその特徴を理解できる。
2. プラットフォームビジネスのいくつかの種類と特徴を理解し、具体的な事例をとの関わりを意思決定できる。

履修上の注意

特になし。

予習・復習

事前に予習を行う。
授業後に復習や課題、レポートを提出すること。

評価方法

授業中のレポート提出とテストで評価する。具体的には、
学期末試験 70%、授業内レポート 20%、受講態度 10%

テキスト

別途指示します